

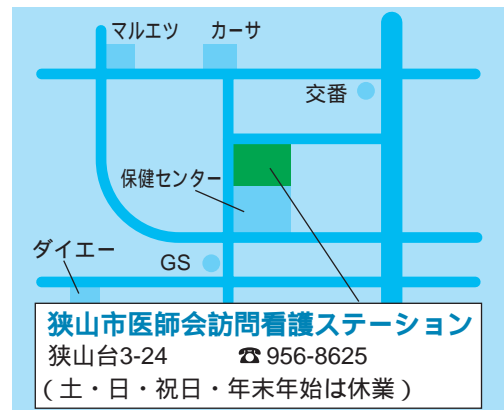
「こんにちは、訪問看護ステーションです。」と看護婦がご自宅に伺います



「変わりはありませんか」とやさしく声をかけて脈拍を計ります。笑顔で応える患者さんのまなざしに、看護婦さんへの信頼の高さを感じます。

これらのサービスを希望する場合は、訪問看護ステーションか、かかりつけの医師に相談してください。相談に応じて、訪問看護専門の看護婦がかかりつけの医師と連絡をとりながら、自宅で看護をしてくれるそうです。

お話を伺って、実際の看護現場はどんな雰囲気なのか知りたいと思いい、利用者ご本人と奥様に了承をいただき、看護婦さんに同行させてもらいました。訪問するとまず体調をつかがい、本人や家族の要望を聞きながら、医師の指示どおりの確に



狭山市医師会訪問看護ステーション
狭山台3-24 ☎ 956-8625
(土・日・祝日・年末年始は休業)

REPORTER'S EYE



【リポーター】
岩田智恵子さん(上奥富在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。

在宅ケアの中核的役割をめざします

皆さんは、狭山市医師会の訪問看護ステーションをご存知ですか。今年の4月に狭山台にある休日診療患センターの隣に開設されました。今回は、この訪問看護ステーションについて狭山市医師会・山崎事務長と、看護ステーションの管理者であり、看護婦でもある杉本さんから、お話を伺いました。

少子化と高齢化が進む現代社会で、在宅ケアをより細やかに、専門的に行うために、この訪問看護ステーションは開設されたそうです。訪問看護ステーションで行うサービスは、次のとおりです。

病气やけがなどで寝たきりのかたや、寝たきりになる心配のあるかたの全身の状態を観察し、医師の指示



「訪問看護ステーションは、一人ひとりの状態に合わせたきめ細かい看護を提供します。」と、山崎事務長さんの心強いお話。

による処置や管理を行うこと 栄養・食事・排泄・清潔のケア 療養環境の整備 病気の後遺症などでリハビリが必要なかたへの指導や機能訓練 適切な福祉機器の選定 住宅改修の相談 痴呆症や精神的な不安のあるかたへの対応方法や生活リズムの調整方法を、介護者に指導すること 事故防止のアドバイスの相談など

ケアしていました。看護婦さんのテキパキとした行動と、患者さんの笑顔。ご家族の優しいまなざしを間近に見られて、訪問看護ステーションが、看護婦、本人と家族、医師の三者が一体となった、きめ細かいサービスを自宅で受けることができる、とても素晴らしいシステムであると確信しました。

狭山市医師会の訪問看護ステーションでは、「利用者とのより良い人間関係づくり、信頼関係づくり」を第一に考えた看護を行うとともに、各種の在宅サービス相談、看護情報の提供、介護者の相談なども行っています。また、市内の病院などにある6か所の訪問看護ステーションでも、同様のサービスを行っているそうなので、お困りのかたはぜひ、相談してみたいかがでしょうか。